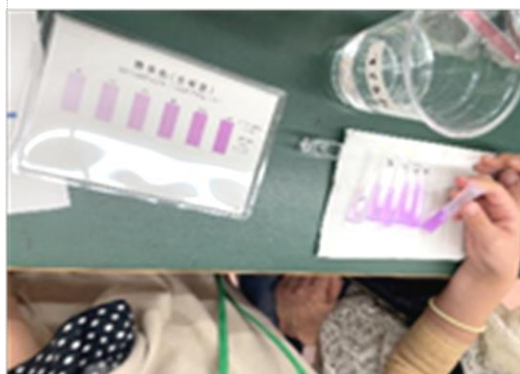


2026 教室・講座・イベントの成果報告

主 催 者 名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」				
題 名・副 題	ミネラルウォーターのちがいを実験で調べてみよう(親子教室) ～水のかたさを石けん水で調べよう～				
月 日・時 間	2026 年 9 月 13 日(日) 10:00～12:00				
開 催 場 所	はまぎん こども宇宙科学館 2階 実験室				
部会・講師名	水・大気部会 長村吉洋	参加数	6組12名	講師数	5名
写 真・画 像					
	調べる水をスポイトで吸い取ります		パックテストで硬度を調べました		
					
	ミネラル水 10mL をシリンジで測ります		石けん水の泡立ちを調べました		
成 果 解 説	この教室では、地球上の水の循環を学び、私たちが生きるために必要な水について理解を深めるため、水の硬さと軟らかさ、ミネラルウォーターと石けん水の化学実験に挑戦します。 地球に存在する水は特別なものであり、私たちの生存に不可欠なものであることをクイズなどで解説しました。水の違いとして、溶けているカルシウムなどミネラルの量によって、硬さが変わることを実験で調べます。最初に、硬度を調べるパックテストを行ってもらい、色の違いでミネラルの量の違いを区別できることを体験してもらいました。後半では、粉石けんを計り取り、計量カップを使って、粉石けんを溶かして、せっけん水を作ってもらいました。純水の泡立ちを最初に調べてもらい、硬度の低いものから順にミネラル水の泡立て実験を行いました。せっけん水を1mLずつ加えていくことによって、どの時点から泡が残るのかを記録してもらいました。少しのせっけん水で泡が出る場合や、とてもたくさん入れないと泡が出ないミネラルウォーターの違いがはっきりしたと思います。 最後に、水道水と石けん水の違いを、方眼紙の上にシャーレを置いて、水滴を作って大きさを調べてもらいました。硬度の違いが食文化と関係していることや、せっけんの性質と役割などを通して、水と環境に関心を持ってもらうきっかけになったと思います。				